

恵那市こども計画 パブリックコメント実施結果

【実施期間】 令和6年12月9日（月）～令和7年1月10日（金）

【閲覧場所】 市ウェブサイト、市情報公開コーナー、子育て支援課、各振興事務所、中央図書館

【提出方法】 市ウェブサイト応募フォーム、持参、郵送、ファクス

【提出数】 70件（うち、小学生6件・中学生63件）

【意見数】 81件（一つの意見に複数の項目が含まれる場合は分けて整理）

大項目	基本目標・めざす姿	基本施策	取組	件数
(1)ライフステージを通した基本目標	1こどもまんなか社会実現に向けた環境整備	(1)情報提供・啓発活動の推進	1こどもまんなか社会に向けた社会機運の醸成	1
			2こども基本法やこどもの権利等の周知・啓発	
		(2)こども・若者の意見反映と活躍促進	3こども・若者の意見反映と活躍促進	5
		(3)こども・若者を見守り・支える地域づくり	4こどもの遊び場や交流機会の創出	5
			5こども・子育てにやさしい地域・住まいの拡充	2
	2こども・若者の命と健康を守る支援の充実	(1)こども・若者の健康づくり	7自殺総合対策大綱に基づく総合的な取組	2
	4特に支援を必要とするこども・若者への支援	(3)障がいのあるこどもへの支援	21学校等におけるインクルーシブ教育システムの実現	1
		(4)こどもの貧困への支援と対策	22連携による教育支援の推進	1
			24就学援助、修学支援による教育費負担の軽減	1
(2)ライフステージ別のめざす姿	2学童期・思春期	(2)学校等における教育の充実	38学校における運営体制の充実	1
			40地域のスポーツ・文化芸術環境の整備★	2
		(3)安心して生活できる学校環境の整備	41いじめ対策の強化	2
			42不登校等のこどもへの支援体制整備	2
		(4)将来についての教育の推進	46ライフデザインに関する啓発や職場体験等の充実	4
	3青年期	(5)こども・若者の居場所づくり	47こども・若者の視点に立った多様な居場所づくり★	3
		(1)こころとからだの健康づくり	50若者に対する健診の充実	1
		(2)就労支援の充実	51若者への就職支援	2
			57相談やプッシュ型の情報提供	3
(3)子育て当事者のめざす姿	1子育て当事者	(2)よりそう支援	60共働き・共育での推進	1
		(3)子育て環境支援	61男女ともに働きやすい環境の整備、希望する非正規雇用労働者の正規化★	2
その他	市全般			11
	感想			29
合 計				81

- 1 こどもまんなか社会に向けた社会機運の醸成
- 2 こども基本法やこどもの権利等の周知・啓発（1件）

意見	・ お金はかかるが市役所に人を何人か集めて権利などを教えることがいいと思う。
回答	本市全体でこどもまんなか社会をめざして取り組んでいけるよう、市内のイベントなどで、こども基本法やこどもの権利について理解を深められる機会を設けます。 また、当事者であるこども・若者だけでなく、こども・若者を支援する立場である大人も対象とし、いじめや児童虐待などのこどもの権利侵害等に関する意識を高めることができるよう、情報提供や啓発活動を推進していきます。その際に、権利は大人にも、こどもにも等しくあることを啓発していきます。

3 こども・若者の意見反映と活躍促進（5件）

意見	・ もっと子供の意見を取り入れたまちづくりをしてほしい。 ・ 子供に意見を聞く場を増やす。 ・ 市民の意見をあまり聞かずに余計なことばかりしているのでほんとうにこのままで大丈夫か？と思ったし、目標が達成できるのかな？と思ったからまずは意見をしっかりと聞いてほしい。 ・ 子どもの意見の尊重の部分がアンケートでもわかったけどあまり聞いてもらえてないからそこをもっとよくしたらいいと思いました。 ・ 私たちの意見を取り入れていく場所をつくっていくことが大切だと考えます。
回答	こどもの意見表明については、アンケート、インターネットでの意見投稿や会議参加など様々な形態が考えられますが、こどもや若者が市政に興味・関心を持ち、意見を表明することができる機会として、「こどもたちと恵那市の未来を語る会」を年1回実施します。 今後、様々な手法で、市政へのこども・若者の意見反映に努めていきます。

4 こどもの遊び場や交流機会の創出（5件）

意見	・設備を新しくし安全と思えるようにする。体を動かせる施設を作ったりして気軽に楽しめるようにする。 ・交流する場所の整備（まきがね公園・まきがね体育館）をして欲しいです。 ・公園やお店などを増やしてほしいと思って、こどもたちの居場所も確保できるし、仕事場も増えると思います。 ・豊かな自然を活かしたアクティビティなどがもっとあったらいいなと思います。 ・楽しめる場所を生み出して若い世代の子どもが将来地元に戻ってきたいと思える活動をしてほしいと思います。
回答	「恵那市公園在り方指針」に基づいた公園の整備を行い、公園整備を検討する際は、こども・若者の意見を取り入れ、こども・若者などの遊びや体験の場、交流の場を創出していきます。 また、市内の既存の公園などの遊び場所やイベントの情報発信に努めていきます。

5 こども・子育てにやさしい地域・住まいの拡充（2件）

意見	・恵那市に住みたい、恵那市で働きたいと思ってくれるように、住宅を用意したり、魅力的な職場作りをして欲しいと思います。 ・恵那市に住みたい、働きたいと答えた人が少ないから、それを解決できるようなことを行うと良いと思う。
回答	本市で暮らし始める移住者や、住まいを構えたい家族の「恵那暮らし」をサポートするため、住宅に関する奨励金や補助金の給付行い、子育てにやさしい地域づくりを推進していきます。

7 自殺総合対策大綱に基づく総合的な取組（2件）

意見	・ 親や先生に相談しよう！など、『頼りになる大人がいるんだよ』と気づかせる時間があるといい。 ・ 子供や若者の意見や悩みをアンケートだけではなくもっと言いやすいようにしてほしいなと思った。悩みとか特に言いにくいと思うから。
回答	本計画の重点事業の一つに「SOSの出し方に関する教育」があります。この事業は、本市の小・中学校において、スクールカウンセラー等が児童・生徒に、悩みや困りごとがあったときのSOSの出し方についての授業の実施や、タブレットのアプリにて児童・生徒のこころの様子の把握に努める取り組みです。引き続き、学校にいる大人にいつでも相談できる体制を整えていきます。 本市の小・中学校では、児童・生徒が、今の心の様子を「晴、曇、雨」の天気マークで記入できる「心の天気」というアプリを導入しています。その心の天気の変化から早期発見、早期解決につなげるよう、引き続き、取り組んでいきます。 また、こどもや子育ての相談に応える窓口として、市子育て支援課において、「えなっ宝ほっとステーション」を開設しています。

2 1 学校等におけるインクルーシブ教育システムの実現（1件）

意見	・ 障害のための支援はその人その人にあった支援をするのはいいけど支援がある学校を増やして欲しいです。
回答	障がいのある子どもが、障がいのない子どもと交流しながら障がいの特性にあった教育を受けられるよう、発達通級や特別支援学級等の指導人材の育成や、環境整備を図っていきます。

2 2 連携による教育支援の推進（1件）

意見	・進学塾ではない、放課後に苦手な勉強をサポートしてくれるサービスや未来キャンパスが市内でも様々な場所で受けられたら嬉しい。
回答	様々な理由から家庭での学習が困難な高校進学をめざす中学校3年生を対象に、高校進学をめざした不得意分野の克服、学習習慣の定着等を目的とした「恵那市地域未来塾」による学習支援を実施しています。 また、「恵那未来キャンパス」においても、プログラミング講座などのビジネスで役立つスキルを身につけるための支援の充実を図っていきます。

2 4 就学援助、修学支援による教育費負担の軽減（1件）

意見	・改善点があるとすれば、勉強以外にかかる費用だと私は考えます。 制服やジャージ、靴、鞆を買うことでたくさんのお金がかかります。学校指定のものでなくても、色を指定し、その色のものを購入し、名前のバッチをつける、名前を書くなどでもいいんじゃないでしょうか？ 靴も小学生が使っているような上履きでもいいんじゃないでしょうか？
回答	中学校の進学にあたり、制服やジャージ等の購入が必要です。確かにお金のかかることもありますが、中学生になると、入学試験など制服を必要とする場面もあります。また、自由に服装を選ぶ場合、毎日違う服をそろえる必要があり、かえってお金がかかったり、経済的な理由で服をなかなか購入できない生徒が苦しい思いをすることも想定されます。 本市では、中学校入学にあたり、令和6年度から1人当たり1万円の祝金を支給しています。 また、一定の所得以下のご家庭には、就学支援のお金として、制服等を含めた入学準備の物品への購入補助も行っています。

3 8 学校における運営体制の充実（1件）

意見	・勉強の時に挙手が自信持ってあげれない時があるから自信をもってあげれるようにしてほしいです。
回答	授業中の挙手につながる「分かった」「できた」「仲間に話したい」という思いをもてるように本市では、「一人一人に確かな学力が身に付く授業」を指導の方針に掲げ、主体的・対話的で深い学びのある授業作りに取り組んでいます。具体的な取り組みは、それぞれの学校ごとに児童・生徒の実態を踏まえて工夫しています。

4 0 地域のスポーツ・文化芸術環境の整備（2 件）

意見	・ 自分の地域のことをより知れる活動を恵那市全体で行っていくことが大切だと考えます。 ・ 自分の地域のことについて知る学習をもっと増やしてほしいです。また中学校になってからそういう学習が小学校の頃と比べ少なくなったと思うので、中学校になっても地域と関わる学習を増やしてほしいです。
★回答	本市では、「地域に根ざし、地域を生かす、特色のある学校」を指導の方針に掲げ、「自分のよさを最大限に発揮して、社会のために貢献しようとする人づくり」の取り組みである「志」教育を大切にしています。この「志」教育の中心が「ふるさと学習」と「生き方学習」です。小学校に比べると校区が大きくなる中学校もありますので、直接出かけたり、話を聞いたりする活動は減ることもありますが、地域の課題について考えるなど中学生ならではの活動を通して郷土愛が育まれるように工夫しています。 本計画に不足する内容と考え、「ふるさと学習」についての取り組みを以下のように追記します。 (P46) ○地域の方を講師として歴史学習や地域の文化を体験する「ふるさと学習」を行うことで、ふるさと恵那に対する誇りと愛着を育みます。 【大項目】 (2) ライフステージ別のめざす姿 【めざす姿】 2 学童期・思春期 【基本施策】 (2) 学校等における教育の充実

4 1 いじめ対策の強化（2件）

意見	・児童同士でのいじめはなかなか気付けないものだからしっかりと正しいことを素直に話してもらえるように先生が指導する。 ・いじめなどは体は目に見えて傷ついているかはわかるけど心が傷ついているかは本人が言ってくれないと分からないしもし自分がその立場なら言い出せません。まずいじめなどを起こさせないなどする対策もいると思いました。
回答	本市の小・中学校において、全ての児童・生徒にとって学校が安全・安心な居場所となるための「魅力ある学校づくり」と「分かりやすい授業づくり」の工夫を推進していきます。 また、人権尊重の意識を高めるための日常的な取り組みを行い、今後もいじめの未然防止に努めていきます。

4 2 不登校等の子どもへの支援体制整備（2件）

意見	・居場所を作るのを学校に施設を作るなど工夫をすればいいと思う。 ・私がこの計画案に加えてもいいんじゃないかと思うのは学校の大切さについてです。今は学校にあまり行けていない子、いわゆる不登校のなってしまう子供は恵那市のそれぞれの小中高では1人以上はいるはずです。学校という場は私たちが明るい未来を築くために重要な場になっているはずです。このことを1人でも多くの子供達に改めて知ってもらいたいです。
回答	様々な理由から教室に行きづらさを感じている児童・生徒に対して、学校内で過ごせる場として、本市の中学校において、教育支援室（市内2か所）を設けています。 また、全ての児童・生徒にとって学校が安全・安心な居場所となるための「魅力ある学校づくり」と「分かりやすい授業づくり」の工夫を推進していきます。

4 6 ライフデザインに関する啓発や職場体験等の充実（4 件）

5 1 若者への就職支援（2 件）

意見	・ 恵那市はとても素敵な環境だから、仕事とか高校とかなどを知る機会があればいいと思いました。 ・ もっと恵那市の職業などを中心に幅広い将来への選択肢を子供達に教えてあげるといいなと思いました。 ・ 進学に不安のある人がたくさんいる事がわかったから将来の選択肢が広がる学校を作ってほしい ・ 恵那市は、進学に不安のある人が多いから進学について相談できる場所を増やした方がいいと思いました。 ・ 恵那市に住みたい、働きたいと答えた人が少ないから、それを解決できるようなことを行うと良いと思う。 ・ 住みたい！・就職したい！と言う人がいないため、店を増やしたりするといいと思います。
回答	「将来、どのような職業に就きたいか」や「どの場所で生活したいか」という願いの基になるものとして、「どのような人間になりたいか」という願いがあると考えています。本市の小・中学校では発達段階に応じて「職業調べ」や「学校調べ」などを行って人生の選択肢を増やす学習も行っていますが、同時に郷土の歴史や先人たちの生き方・業績などを学ぶ「生き方学習」も実施し、多くの選択肢の中から自分らしい生き方につながる活動を工夫しています。 また、本計画の重点事業の一つである「中学生・高校生向け市内企業PR」において、市内の企業を知ることや、様々な職場での体験活動を推進することにより、児童・生徒の「職業」や「仕事」への理解を深め、自らのライフデザインを描けるよう支援していきます。 中学校への進学にあたって不安なく進学ができるように、担任の先生だけでなく不安な内容に応じて養護教諭、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターなどに相談することができます。小学校の先生だけでは分からない内容については、中学校の先生に連絡して情報を得たり、直接、中学校へ出かけて校舎を確認したり、担当の先生から話を聞くこともできるようになっています。 「恵那くらしビジネスサポートセンター」において、ビジネスに関するサポートを行い、本市における就労や起業を支援するなど様々な施策を総合的に推進し、定住人口の増加に取り組みます。

4 7 こども・若者の視点に立った多様な居場所づくり（3件）

意見	・自由に過ごせる場所があるといいなと思いました。 ・恵那駅前のバロー2階のような自由に学習できるスペースが増えると嬉しいです。さらに、若者どうしで交流できるイベントや色々な経験をした人の話を聞ける機会があるといいと思います。 ・「こどもや若者同士が集まったりして自由にすごせる場をつくる」の部分があまり計画になかったので、若者たちの意見を反映させるのなら、そこももう少し多く計画に含めた方がいいと思いました。
★回答	「恵那未来キャンパス」やコミュニティセンター、地域教育拠点施設などにおいて、こども・若者が安全に安心して過ごせる居場所となるよう充実を図るとともに、こども食堂などの地域における多様な居場所づくりを促進していきます。 令和8年度に地域の新たな学びの場として、恵那南地区内の各コミュニティセンター等に、地域教育拠点施設を設置し、自主学習ができる環境を整備していきます。 また、市内のイベントの情報発信に努めるとともに、若者が交流できるイベントも計画していきます。 本計画に不足する内容と考え、以下のように追記します。 (P50) ○こども・若者の意見を取り入れ、こども・若者の視点に立った多様な居場所づくりを検討します。 【大項目】 (2) ライフステージ別のめざす姿 【めざす姿】 2 学童期・思春期」 【基本施策】 (5) こども・若者の居場所づくり

5 0 若者に対する健診の充実（1 件）

意見	・ 出産育児のメイン層の30代主婦に向けた健康診断を受ける機会を特別に作る。子宮がん乳がん検診などチケットが40代では遅いなどよく思っている。
回答	本市では、15歳から39歳までの市民の方を対象とした「若いひと健診」を行っており、本計画の重点事業としております。また、国の指針に基づき、乳がん検診（マンモグラフィー検査）は40歳以上、子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診）は20歳以上を対象に実施しており、2年に1度の公費助成があります。多くの方が利用しやすいよう、休日の健診日も設けています。今後も受診率向上のため、「恵那市成人健康カレンダー」や、市民メールなどによる効果的な情報発信を進めていきます。

5 7 相談やプッシュ型の情報提供（3 件）

意見	・ 保護者のための相談所などを作ることで、子供が安心して生活できるようになるのいいと思いました。 ・ インターネットや紙で広めるといいと思います。（恵那の魅力をいろんな人に広めると外から来る人がいるかもしれないし、出て行かないって考えになるかもしれないから。） ・ 恵那市のいいところなどをもっといろんな人に伝えられるようにしたらいいとおもいます
回答	本市では、こどもや子育ての相談に応える窓口として、「えなっ宝ほっとステーション」を開設し、妊産婦やこども、子育て家庭へ、訪問、面談、電話等による包括的支援を行っています。 また、身近な相談場所として、各こども園で開催している子育て支援センターを、令和6年度から地域の子育て相談機関として位置づけ、子育て家庭への情報提供、相談、助言を行うことができる体制を整えています。 本計画の各種事業においても、「恵那市子育て応援情報ハンドブック」や公式アプリ「え～なび」及び各子育て関連施設等において周知を図るとともに、デジタル技術を活用しながら必要な人に必要な情報が届くよう、効果的な情報発信を進めていきます。

6 0 共働き・共育での推進（1 件）

意見	・住宅を用意したり、魅力的な職場作りをして欲しいと思います。
回答	就労環境への働きかけや、事業主への周知・啓発等を通じて、女性と男性がともにキャリアアップや自分らしい働き方と子育てを両立できるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた魅力的な職場づくりを促進していきます。

6 1 男女ともに働きやすい環境の整備、希望する非正規雇用労働者の正規化（2 件）

意見	・パートや主婦層に向けた資格取得の機会。資格がほしいと思いつつ、なかなか得る時間と気力がないため。みんなで勉強するような環境があると盛り上がるかとも思いながら。 ・子育てをする親に対しても(産後の仕事に関してなど)サポートがもっと手厚いといいと思います。
★回答	バロー恵那ショッピングセンター2階の「恵那中央出張所 えなえーる」において、「女性活躍」「食」「行政窓口」の3つをテーマに取り組みを行い、恵那の魅力を発信しています。「女性活躍」では、自分らしい働き方を見つけるための就労相談会やセミナー、起業を目指したスキルアップのための勉強会、子育てや福祉相談会などライフステージに合わせたイベントを行っています。 本計画においても必要な事業と考え、以下の事業を追加します。 (P59) 【事業名】 174 恵那中央出張所 えなえーる 【大項目】 (3) 子育て当事者のめざす姿 【めざす姿】 1 子育て当事者 【基本施策】 (3) 子育て環境支援 【取組】 61 男女ともに働きやすい環境の整備、希望する非正規雇用労働者の正規化 令和6年度からさらなる子育て支援の充実に向けて、「経済的支援」「よりそう支援」「子育て環境支援」の3つの施策を柱にした『恵那市子育て支援パッケージ』として子育て応援事業をとりまとめ、実施しています。引き続き、仕事と子育てを両立できるワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備に取り組みます。